

森里川海の恵み、 地域のあしたを考える。

私たちの生きる基盤、森里川海の恵みを認識し、未来の世代につなげていく取り組み、それが「つなげよう、支えよう 森里川海」プロジェクトです。
その取り組み内容や自然を活かした地域活性化への取り組みを紹介し、豊かな森里川海と地域のこれからを考えます。



つなげよう、支えよう森里川海 シンポジウム in 八戸

12月12日(土)

会場：デーリー東北ホール

《プログラム》

- 主催者挨拶 環境省自然環境局 自然環境計画課 生物多様性施策推進室長 堀上 勝
- 地元代表者挨拶 八戸市 市長 小林 真
- 『つなげよう、支えよう森里川海プロジェクト』とは 環境省
- 特別講演
『森は海の恋人 人の心に木を植える』 畠山 重篤氏 (NPO法人森は海の恋人 理事長)
- シンポジウム
テーマ：地域で残したい森里川海や森里川海と人とのつながり、それを未来へひきつぐ取組
パネリスト：
NPO法人森は海の恋人 理事長 畠山 重篤氏
八戸市水産科学館マリエント 館長 吉井 仁美氏
階上町産業振興課農林水産グループ 総括主幹 森 敦氏
洋野町特定政策推進室 主任 番沢 鋭治氏



畠山 重篤
(はたけやま しげあつ)

県立気仙沼水産高校を卒業後、家業の牡蠣養殖業を継ぐ。海の環境を守るには海に注ぐ川、さらにその上流の森を守ることの大切さに気づき、漁師仲間と共に「牡蠣の森を慕う会」を結成(2009年、NPO法人森は海の恋人を設立)。1989年より気仙沼湾に注ぐ大川上流部で、漁民による広葉樹の植林活動「森は海の恋人運動」を行っている。

東日本大震災で牡蠣養殖施設等の全てを失うが、震災後の自然環境を活かした地域づくりを展開している。

近年の受賞歴は、国連森林フォーラム(UNFF)「フォレスト・ヒーローズ」受賞(2012年)、第6回KYOTO地球環境の殿堂表彰(2015年)、第25回みどりの文化賞受賞(2015年)など。

日時：12月12日(土) 14:00~16:30(予定) 13:30受付

会場：デーリー東北ホール 八戸市城下一丁目3-12 デーリー東北新聞社本社内

参加費：無料 ※事前申し込みは不要です

主催：  環境省

お問い合わせ先：

「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクト 全国リレーフォーラム事務局

Tel. 03-3505-1253 E-mail info@morisatokawaumi.jp

時間 平日 10:00~18:00(土・日・祝祭日、平日 12:00~13:00を除く)

「つなげよう、支えよう 森里川海」プロジェクトについては、ホームページをご参照ください。

<http://www.env.go.jp/nature/morisatokawaumi/>